

「私も便を聞いて安心！」

「ア、私もこれで落着いた！まあ、その邊の紅葉の見事さ！だが、夜は定めて淋しからうね！」  
 慰めながら、母は風呂敷包を解いて、いろいろな食物を取り出した。

八、

安心させて母を返し、茂助は再び仕事に着手つて、夜を楽しみに、その日を暮した。

世界最大の大慈善家

メキシコの鑛業家ベドロアルバアラドと云ふ人は先頃二千万圓と云ふ大金を同國の貧民に給與するに決して此事を同國の政府に申出たそをで同國の大統領は五名の委員に命じて其分配方法を講せしめつゝありと云ふことです。

此アハバアラドと云ふ人は同國中では非常な資産家で其財産は殆んど計算することが出来ない程で嘗ては同國の國債全部を一人で辨償し様と願ひ出て政府が許さなかつた位だそうです。

そして氏が一生の願と云ふのは何うかして世界第一の慈善家になりたいと云ふのだそをで米國のカリーネギーなどは遠く押し退けてしまつて世界の無比の大々慈善家になつて力の限り其無盡藏の富を慈善の爲めに遣ふと云ふのだそをです。何と豪い人があつたものではありませぬか。是でこそ始めて富の價値が表はれると云ふものです。

今夜も早、炭を焼いて了つたので、少年は焼火の前に寛いで、モウそろ／＼始まる時刻だなど待つて居ると、今夜は直様我が前で、琵琶の聲が起つたと思ふと、美しい長い美事な鬚を有つ、温かな白衣の老人が、焼火に近く座を占めて、これ聞けがしに撥を執り、琵琶の秘曲を奏てるのであつた。

(とはち)